

小学校 高 学年＜ 5・6－（3）－2＞

学 年	5年 6年	時 間	体育（保健）or 学級活動 「けがの応急手当と応急担架の作り方」	時 期		時 数	1時間（45分）
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時や日常生活においてけがをしてしまった場合に備え、応急手当ができるようにする。 ・ 毛布などの身近なもので応急担架を作ることができる。 						
資料・準備	毛布、竹竿などの棒（モップの柄、竹ぼうき、物干し竿等でもよい）、防災48の資料						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇)	指導上の留意点 支援(○)
導 入	<p>1 応急手当等の必要性について知る。</p> <p>◇災害時ばかりでなく、日常生活でも応急手当の方法を身につけておけば、いざというときに役立ちます。これから、実際に(教えてもらいながら)やってみましょう。</p>	○消防署員や消防団員や応急手当指導員・普及員の資格を持っている方とともに進めて行く。
展 開	<p>2 応急手当を教えてもらいながら実習する。</p> <p>◇切り傷などの出血を止める方法について教えてもらいましょう。</p> <p>◇打撲、捻挫、骨折したときなどの固定法について教えてもらいましょう。</p>	○指導してくださる方の話をしっかり聞いて、グループで協力して実習できるよう、必要に応じて指導・助言する。
ま と め	<p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>○本時のまとめと振り返りをさせる。</p> <p>○本時に学んだことは、家族にも伝えるよう話す。</p>

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	
協 力 団 体	東・中・西部各広域消防局、各地域担当消防署、地域の消防団